







## ユーザーインターフェースのカスタマイズ

Pyramixでは、アプリケーション上の様々なユーザーインターフェースをカスタマイズすることができます。

**Desktop Layout**, **TimeLine Layout**, **Track Headers Layout**のカスタマイズは、**Settings > All Settings > Application**の各ページにて設定が行えます。

## ツールバーとメニュー

Pyramixのツールバーおよびメニュー表示もカスタマイズすることができます。 詳細は**Desktop Layout**のページを参照してください。

ツールバーが表示されているブランク部分で右クリックすると、下図のメニューがポップアップします。

~	Project
~	Edit
~	View
~	Clips
~	Tracks
•	Cursor and Marks
•	Selection
~	Internal Machine
	Save Toolbars layout

Toolbar context menu

任意のツールバーの名前をクリックすると表示/非表示を切り替えることができます。

アレンジしたレイアウト設定は、Save Toolbars Layoutをクリックすることで保存されます。





## キーボード・ショートカットのカスタマイズ

キーボード・ショートカットを使用することで、Pyramixの編集やトランスポートなどを効率的に操作することができます。また、コマンドを別のショートカットで覚えている場合には、ユーザー定義でキーボード・ショートカットのカスタマイズを行ってプリセット情報として保存しておくことも可能です。Presetsのドロップダウンメニューには、キーボード・ショートカットの各種テンプレートも用意されています。

新しくキーボード・ショートカットを定義する手順は以下の通りですと

1. Settings > Keyboard Shortcutsメニューを選択してKeyboard Shortcuts画面を開きます。

ommands (Double-click on a C	command, Press a Key combination and Click 'Assign')	Assigned Keys	
Selection Fade Editor Controllers Cue Sequencer I Project Edit View Vorkspaces Digitizing Session Acc	Media         Automation           Settings         Help         Macros         Macro Tools           Clips         Tracks         Cursor and Marks           twe Machine         Internal Machine         External Machines	CTRL + SPACE	Assign Remove Reset All
Commands	Assigned Keys	7	C Editor Desirate Only
Stop H Pause Play Record Fast Forward	K, NUM 0 L NUM DECIMAL SHIFT + F8		Edung Projects Unly     Digitizing Sessions Only     Both     Internal Machine Only     External Machines Only
4 Fast Rewind	SHIFT + F7		9 Both
H Scan Forward	CTRL + F8	Press new shortcut key I Key Up I No Repeat	
I++ Scan Rewind	CTRL +F7		
H Start	HOME, SHIFT + F5		
H End	END, SHIFT + F6		
Play Reverse	CTRL + SPACE		
▶2 Play 1/2	SHIFT + SPACE	1-7-2012	
41 Play 1/2 Reverse	CTRL + SHIFT + SPACE	Assigned Modifiers	
A Diau 1/4 Davarra	ALT + SPACE	CTRL	Assign
A Play 1/16	CIRL + ALT + SPACE	SHIFT	mail in the second s
A Diau 1/16 Deverse	CTDL + CHIET + ALT + CDACE		KETROVE
Play 2x	CIRC + STUFT + ALT + SPACE		Reset All
Play 2x Reverse	I		
Play 4x	P	Press new modifier	
41 Play 4x Reverse	U		
	200.000		
He Tonde Plax/Ston	SPACE I	Load Table Export Table	Allow modifiers to be pressed
			afterward and already pressed
AVIST F			keys to be repeated on Key Lin

- 2. 左側のタブ画面には利用可能なコマンド機能がグループ別に格納されています。タブをクリックして表示を切り替えながら、キーボード・ショートカットに追加したいコマンド機能を探してください。
- 3. コマンド機能をクリック選択してハイライトさせます。
- 4. 右側のPress new shortcut keyのボックスをクリックすると、ボックス内で入力カーソルが点滅します。
- 5. 割り当てたいキーボード・ショートカットキーを押します。装飾キー(Ctrl, Shift, Altキーなど)とのコンビネー ションも割り当てることが可能です。押したキーの情報がPress new shortcut keyのボックスに反映されま す。
- Assignボタンをクリックします。
   入力したキーボード・ショートカットキーが既に他のコマンドに割当たっている場合は警告が表示されます。





(Yes=新規に割り当てる, No=重複させて割り当てる, Cancel=別のキーをもう一度探す)

- 7. 手順2.~6.を繰り返して、キーボード・ショートカットキーを自由にカスタマイズしてください。
- カスタマイズを行ったキーボード・ショートカットキーは、プリセット情報として保存できます。
   保存するにはSave Presetボタンをクリックして、プリセットの名前を付けてください。
   保存したプリセットは、Presetsのドロップダウンメニューから呼び出すことができます。
- また、Save Tableボタンを使用するとプリセット情報をPC上にファイル情報(\*.pmk)として保存することができます。保存したファイルは、Load Tableボタンで呼び出せます。

ファイル情報として保存した場合は、同じシステムを使用する他のユーザーから安易にプリセット情報を変更 されてしまう事故を防げるほか、他のPyramixシステムへ\*.pmkファイルをコピーして使用することもできま す。

10. さらに、Export Tableボタンを使用するとプリセット情報をPC上にテキスト情報(\*.rtf)としてエキスポートする ことができます。エキスポートした\*.rtfファイルは、ガイドとしてプリントアウトするなどして活用できます。

**例:** 多〈のユーザーの方が J / K / L キーを、それぞれActive MachineのReverse Play / Stop / Playコマンド のショートカットにアサインして使用されています。

この場合のアサイン手順は以下の通りです

- 1. Settings > Keyboard Shortcut Editor または View > Customize > Keyboard Shortcut Editorメニュ ーを選択します。
- 2. Active Machineタブを選択します。
- 3. Play Reverseコマンドをクリック選択します。
- 4. 右側のPress new shortcut keyのボックスをクリック(またはコマンド機能をダブルクリック)すると、ボックス 内で入力カーソルが点滅します。
- 5. キーボードの J をタイプします。
- 6. Assignボタンをクリックします。
- 7. Stopコマンドをクリック選択します。
- 8. 右側のPress new shortcut keyのボックスをクリックして、手順5.で入力したJをダブルクリックしてハイライト させます。
- 9. キーボードの K をタイプします。(Jが上書きされます)
- 10. Assignボタンをクリックします。
- 11. 手順7.~10.を繰り返して、Playコマンドにキーボードの L を割り当てます。
- 12. Save Presetボタンをクリックすると、名前を付け新しいプリセットとして保存できます。 ドロップダウンメニューから既存のプリセットを選択した場合は上書きされます。



## ユーザーマクロの定義

マクロ機能は、コマンドのシーケンスをキーボードに割り当てて使用することができます。 マクロを有効に活用することでさらに効率的な作業を行うことが可能です。

新しくマクロを定義する手順は以下の通りです

1. Settings > Macro Editorメニューを選択してMacros画面を開きます。

Macros	Macro Commands	Commands
Narros Full-Sonic N/A Index-Sonic F-11 Ins w/Made-Sonic A-F1 Ins w/Made-Sonic A-F1 Ins w/Made-Sonic A-F1 Ins w/Made-Sonic F4 InstRipple w/Made-Sonic A-F2 InstRipple w/Made-Sonic F2 InstRipple w/Made-Sonic F2 Laft Edge to wherever-Sonic Laft Edge to wherever-Sonic Laft Edge to wherever-Sonic Laft Gate to In Point-Sonic S-F3 Laft Gate to Out Point-Sonic S-F4 LoopAFill-Sonic CS-F4 Mount EDL-Sonic N/A Mount Source in Symc-Sonic CF5 Move to In Point-Sonic SC-{ Move In Point-Sonic SC-{ Move In Point-Sonic SC-{ Move In Point-Sonic SC-{ Move In Point-Sonic CF5 Move to Laft Gate-Sonic C+F5 Move to Laft Gate-Sonic C+F5 Move to Laft Gate-Sonic C+F5 Move to Right Gate-Sonic C+F5 Move to Right Gate-Sonic C+F5 Move to Wherever-Sonic N/A New EDL-Sonic A-N Les Macro Delete Macro Delete Macro	E T	 Commands Selection Pade Editor Media Automation. Workspaces ADR Digiting Session Active Machine Internal Machine External Machines Controller Cue Sequencer: Settings Help Macros Macro Tools Keystrok Project Edit View Clos Tracks Cursor and Marks Commands New New from Template Open Save as Sersion 4.3 Save as Version 4.3 Save as Version 5.1 Save as Version 5.0 Save as Version 5.0 Save as Version 6.0.35 SP1 Save as Version 6.0.35 SP1 Save as Version 6.0.35 SP2 Close Information & Settings Simper1 Export Export Import from Tape (Cepture) Export to Tape (Auto Edit)

- 2. New Macroボタンをクリックして、マクロの名前を入力します。
- 右側のタブ画面には利用可能なコマンド機能がグループ別に格納されています。
   タブをクリックして表示を切り替えながら、マクロに加えたいコマンド機能を探してください。
- 4. コマンド機能をクリック選択してハイライトさせます。
- 5. <<ボタンをクリック(またはコマンド機能をダブルクリック)するとマクロが追加されます。
- 手順3.~5.を繰り返し、マクロとして定義したいコマンド・シーケンスを完成させてください。

新しく作成したマクロは、Keyboard Shortcuts画面のMacroタブに表示され、キーボード・ショートカットに割り当てることが可能です。手順の詳細は、前頁のキーボード・ショートカットのカスタマイズを参照してください。

Note: マクロのシーケンスには、キーボードのEnter, Shift, Tab, ESC, スペースパー, 矢印キーの情報も使用できます。